

アソカ講話020

テーマ「今を生きる、自分を生きる」

私達は、ないものねだりをして不幸感を持つことが多いが、自分がないものや、できないことは生きていく上で必要がないからだと言藤一人氏は教えてくれている。

他者を羨む前に、自分自身にあるもの、今、あるものに感謝して、今あるものを活かす姿勢が幸福な人生を作るという。

シンプルに生きる秘訣は、自分の花を咲かせることで「良し」とすること。あれもこれもと思わず、人の花をうらやましながら、自らに与えられた花を咲かすことを天命と思うこと。そのことに専念することである。余分なものを棄てる生き方は思っていたより清々しい。

余分なものは実はいらぬものであることが多い。人生の要諦はあるものに感謝して活かすこと、ないもの、できないことに苦しまず、与えられたものを活かす、そこにその人のみ持つその人にとっての大切なもの、本物が残る。

人の人生は、自分の花に気づき、自分の花を一生かけて育て上げることにあるように思う。そして、そのことが、社会を豊かにすることであったり、他者が喜ぶことであれば最高の人生だろう。